

祝 発足40周年

宮城県心筋梗塞対策協議会

ごあいさつ

会長 下川 宏明



当会は1979年に故・瀧島任教授が発案され、発足しました。当時の宮城県の急性心筋梗塞(AMI)に対する救急医療体制は極めて不十分で、24時間体制で患者を受け入れる病院は一つもなかったといわれています。こうした状況に危機感を抱いた瀧島先生が県内の病院に呼び掛け、約20の病院が当会に参加するのが始まりです。現在では県内でAMIを扱う病院は、ほぼ全てに当たる43病院が参加しています。発足当時から、当会に参加する病院で対応したAMI症例の全例を

データベースに登録し、国内外からも重要かつユニークなAMIの臨床疫学研究として注目されています。

1979～2008年の30年間で、わが国におけるAMI発症率は増加した一方、救急医療の進歩とともに院内死亡率は劇的に改善されましたが、この10年間は鈍化がみられます。当会の活動から得られた知見は、わが国の循環器疾患の動態を正確に表す研究として学術的に貢献しています。今後も活動を継続し、宮城県の循環器医療の向上に努めます。

問／東北大学循環器内科(事務局) 仙台市青葉区星陵町1-1 TEL022-717-7153

2019年(令和元年)6月29日(土)河北新報朝刊
※転載許可取得済み